

笑顔のちから

王 婷玉
教育学部 交換留学生 中国

「きっとこの世界の共通言語は英語じゃなくて笑顔だと思う」（『福笑い』（高橋優より）
私は和歌山へ来る前、この文を深く考えたことがなかった。というより、なんとも思っていなかった。

三ヶ月前、日本語がまだまだ勉強不足である私は、一人暮らしの生活に不安を持ちながらも、様々な楽しみを抱き、北京の家族や友達と離れて和歌山へ来た。

初めての和歌山。そして、関空から和歌山へ来る途中でみた、緑いっぱい美しい山々、心を癒されるほど淡いピンクの桜の木、ピカピカしている大海がくれた感動を、今でもはっきり覚えている。

でも、景色は感動するほど美しいけれど、けっきょく、言葉があまり通じないことから起こった不安に勝つことができなかった。でも、ある一つの力の存在を感じられるようになってから、不安に勝つことができた。

日本語がうまく使えないだけではなく、英語でもほとんど会話ができない私は、ある日、買い物をしていて、こんな事があった。欲しいものが探せなくスタッフに聞いたとき、また、コインの形と種類があまりわからなく、とても遅く払っていた時、「ごめんなさい」と言ったら、みんなの励ますような笑顔にであった。外に出て道に迷って、人に聞いたときや、学校で先生方に質問をしたとき、いつも笑顔でちゃんと教えてくれた。笑顔は何よりも最高だと思う。みなさんの笑顔に支えられて、私は 自信を持つことができ、もっともっと頑張れるような気がする。

毎日、自転車で大学に通っているのですが、とても疲れるが、学校の山の下で会ったおばあちゃんやおじいちゃんが、よく笑顔で挨拶してくれる。その笑顔に出会うと、暑さや寒さ、



体の疲れも、すっかり消えてしまう。

友達と一緒に会館の近くの海へ遊びに行く時、青色の海はとても美しいが、海の前で砂を踏みながら笑っているみんなの姿はもっと美しいと思う。思い出してみると、自分はいつも様々な困難にあっ

てきたが、みんなの助けがあったからこそ、困難も楽しさ変わった。和歌山に来てから、色々な国からきている留学生や中国の様々なところからきている留学生と友達になった。友達のおかげで楽しく充実した留学生活が送れている。ありがたさと幸せでいっぱいのお気持ちを言葉ではみんなにうまく伝えられない。でも、日本語、英語、中国語など複雑な言語ではなく、私はみんなに笑顔で気持ちを伝えたい。

一番美しいのは自然の景色でもなく、温かい言葉でもなく、笑顔だ。みんなの笑顔がなかったら、私は毎日の努力の意味もないと思う。みんなの共通言語は日本語でもなく、英語でもなく、笑顔だ。笑顔はまるで魔法のようだ。笑顔のおかげで、私たちはみんな一緒に生きている、いつも一人ではない、と感じられるのではないだろうか。



笑顔で接してくれた和歌山の人々に、心から感謝している。これから私も頑張り、その人たちに自分の一番美しい笑顔で、「ありがとう」という気持ちを伝えたいと思う。